



日本共産党
北茨城市委員会
磯原町豊田1030-2

毎週 日曜日 発行

市議団
ニュース

ご相談は
お気軽に

市議会議員
福田 明
43-0468

市議会議員
鈴木やす子
42-2462

誘致企業2社の着工延期

懸念される経済動向の影響が当市にも

南中郷工業団地

12月3日、第4回定例議会を前に議員全員協議会が開かれました。市当局から南中郷工業団地への企業誘致に関連して報告がありました。

それによると、すでに誘致が決まっているメタルテック(株)の工事着手が、当初予

定の今年10月から1年間延期され、平成23年2月の操業をめざすとしています。

また、(株)日新化学(本社・八王子市)が11月17日に県開発公社と土地購入で調印

しましたが、土地を購入できしだいとしていた着工計画は延期されることになり



09年予算要求

日本共産党北茨城市議団は、12月2日、市長に対して、2009年度予算要求をおこないました。(2面に全文)

投機マネーの暴走や世界的な経済不安から、国内景気のいっそうの悪化が懸念されているもとの、市議団は「こういう時期だからこそ、市民の暮らし応援の政策に力を注ぐべき」と要望し、市立病院の充実、国保証取り上げの改善、国保料の軽減、また地場産業の活性化などについて懇談しました。

豊田市長は、市立病院について「医師確保に奔走し、常勤医師も何人か獲得できているが、きびしい経営状態が続く。存続のために奮闘していきたい」と述べました。

ました。市では「今後とも県開発公社にたいして、企業の誘致は南中郷工業団地を最優先するよう働きかけていく」としています。

寒さも忘れる 花園 といねいなガイド

花園ボランティアガイドに感謝し、また北茨城市の観光資源をうらやむ?記事

をインターネット上でみつけました。左は、日本共産党小

ガイドボランティア

小美玉市美野里地区のボランティア連絡協議会の研修で、北茨城市の花園神社に行き、ガイドボランティアさんとの交流を兼ねた案内を受けてきました。総勢26名で行ってききましたが、3人のガイドさん、丁寧な説明に寒さも忘れ聞き入ってしまいました。



花園神社は標高500m位のところにあつて、もう少し山奥ではすでに雪が降ったとか。同じ茨城県でも随分違うものですね。周りの景色は名残の紅葉でまだまだ見ごたえ十分、1週間前はそれは見事だったとか。

やはり歴史ある建物はそれだけで存在価値があるというもの。我が小美玉市にはこういった類のものが実に少ない。観光資源のない所に人を寄せるのはなかなか難しいものです。小美玉市にはそれが無いだけに、たとえば茨城空港ができて、飛行機が飛んだとしても留まる人は少ないだろうねえ。

北茨城市観光ボランティアの皆様ありがとうございました。

<http://blog.goo.ne.jp/yayohi841> から

- ・市内での雇用、経営実態
- ・子どもの保険証、介護保険料の改定、国保税
- ・五浦地区についての市長の会見記事
- 鈴木やす子(7番目)
 - ・経済対策についての見解
 - ・安全・安心の街づくり
 - ・後期高齢制度の滞納実態
 - ・子どもたちの居場所づくり

一般質問

第4回定例市議会が12月3日に開会しました。一般質問は12月9日です。通告は7名で日本共産党市議団の質問予定項目は次のとおりです。

○福田明(2番目)

酒が恋しい季節になった。私は普段、焼酎のお湯割りだが、肌寒い季節になると、たまには日本酒の熱燗で一杯やりたい気分になる。歌人の俵万智さんは、愛くるしい顔に似合わず、相当の酒豪らしい。ある新聞に2年以上にわたって毎週、「百人一酒」という酒にまつわるエッセーを連載していた。そのなかで彼女は「良質の酒は、水で割っても味がくずれない」と述べ、その代表格が新潟の銘酒「越乃寒梅」だと紹介している。実際、この銘酒は水割、ロック、お湯割りとは何であろうか、実に美味いらしい。しかし、一般的なお酒は、水で割ったら、まずくて飲めたものではないという。すぐ底が割れてメッキが剥がれてしまいうらしい。

「新KY」首相 福田明

「K(空気が) Y(読めない)」「K(読めない) Y(よく知らない)」「K(経済も) Y(よく知らない)」とのことらしい。師走をむかえ景気の悪化は想像以上のものがある。麻生氏は毎晩のように高級バーに通って迷走にふけっているようだが、私には麻生氏の「K(感覚が) Y(よく理解できない)」。

人間も同じことが言えるのではないだろうか。さして責任ある立場でなければ、多少とも格好を付けて意気がつて暴言を吐いても、さほど気にも留められない。しかし、一度それなりの地位につくなり、そうした性格や失言癖が決定的な弱点として露呈し、底の浅い人間であることが見透かされてしまう。いわば「その器ではない」ことが明らかになってしまうことがある。麻生首相はその典型であるろう。

就任わずか2ヶ月で、「医師は一般常識が欠落している」「あんなやつらの医療費を払う気になれない」等々...どうにも失言が止らない。テレビでは各評論家が「あきれものがない」と、笑うに笑えない批評をしている。自民党内でも公然と首相に反旗をひるがえす議員が出始めている。もはや政権の末期症状であることは、誰の目にも確かだろう。

北茨城市長 豊田 稔 殿

2008年12月2日

日本共産党北茨城市議団

市議会議員 福田 明

市議会議員 鈴木康子

2009年度 予算要求書

アメリカの金融危機に端を発した世界的な経済危機が叫ばれる中で、国内の景気のいっそうの悪化が懸念されています。すでに大企業などを中心に派遣などの非正規雇用労働者の大量解雇が相次いで発表されています。また、中小零細企業は仕事量の減少、単価の切下げが押しつけられ、年を越せるかどうかの瀬戸際に追い込まれています。燃油・資材等の高騰は農漁業・建設業にも深刻な影響を与えています。

しかし、政府は「100年に一度の経済危機」といいながら、先日発表した追加経済対策では、選挙目当ての「バラまき」と批判が強い「定額給付金」や大企業・大資産家への減税が中心で、有効な景気対策が示せず迷走を続けているのが実態です。

こうした中で、地方自治体が住民の暮らしと福祉の向上をはかるといふ自治体本来の使命と役割を發揮することが今ほど強く求められている時はありません。

予算の使い方をよりいっそう、くらし、福祉、生活、環境重視型に切り替えることで、中小企業の仕事や雇用を増やし、地域経済の立て直しをはかるべきです。

地方自治の原点にたち、市民の付託と期待にこたえる来年度予算編成と施策をおこなうよう、市当局に対し、以下の要求を行なうものです。

● 暮らし

1. 市立病院の医師確保に努め、充実した医療と経営の安定をはかる。特に脳外科、整形外科の充実をはかること。
2. 後期高齢者医療制度の見直しを国・県に求めること。
3. 低所得者にたいする国保税並びに介護保険料・利用料の減額、免除制度を確立すること。
4. 国保会計への一般会計からの繰入を増額し、耐え難い国保税の軽減をはかる。また、国に対して国庫負担の割合を元に戻すよう働きかけること。
5. 国保税の滞納を理由にしての資格証明書や短期保険証の発行をやめ、加入者全員に正規の保険証を交付すること。特に幼児・児童・生徒のいる世帯については早急に改善するこ

と。

6. 税金の滞納者への対応は、本人の生活実態を調査し、充分な話し合いをしたうえで行うこと。生存の自由が脅かされるような強引な取立てや差押えは止めること。

7. 上下水道料、使用料、手数料など各種公共料金の値上げは行なわないこと。

8. 誰もが安心して介護サービスが受けられるよう、地域包括支援センターの充実など予防・介護基盤のいっそうの充実を努めること。

9. 障害者自立支援法に伴う本人1割負担の軽減策をはかる。また、国・県に対して障害者自立支援法の見直しを働きかけること。

10. 乳幼児医療費の無料化制度については、小学校入学前まで、また小学校卒業までの引き上げをはかり、将来的には義務教育終了まで無料化を拡充すること。

11. 妊婦検診の回数増をはかること。

12. インフルエンザ注射への助成枠を全市民に拡大して行なうこと。

13. 難病患者見舞金の増額・拡充をはかること。

14. 保健師を増員し充実した予防行政を行なうこと。

15. 配食サービスの回数増をはかること。

16. 深刻な不況の中、ハローワーク等の関連機関と協力して、市民の雇用確保のために全力をあげる。地元企業の新卒採用に際しては、地元高校生を優先するようはたらきかける。行政による就職支援の相談業務の充実をはかること。

17. パート職員の待遇の改善をはかること。最低賃金の引き上げを国・県に働きかけること。

18. いわき市などで実施されている住宅リフォーム資金助成制度を設け、地域経済の活性化をはかること。

19. 小規模工事希望者登録制度をもうけること。

20. 南中郷工業団地、及び中郷工業団地への企業誘致を積極的に推進する。その際、無公害の企業を最優先にすること。

21. シルバー人材センターの会員が増えています。仕事の確保に行政が支援をつよめること。

22. 市内の農業、林業、漁業、水産

加工業などの地場産業の振興につとめ、地域でとれた製品の地域内での消費を促進すること。

23. 創設された地産地消協議会の議論を広く旺盛にすすめる。減反政策の見直しの一環として、食の安全と環境に配慮した「有機農業」を推進すること。

24. 燃油・資材などの高騰から地場産業をまもるため、市独自の支援策を講じつつ、国・県の対策をひきだすこと。

25. JR列車の高萩駅止まりを大津港駅まで延長させるよう、関係機関に働きかけること。

26. 磯原駅、大津港駅に特急列車の利用者専用の駐車場の確保に努めること。

● 教育

27. 中学校新入学生徒へのカバンを無料支給すること。

28. 子どもたちを犯罪から守るために、通学路の総点検及び学校内の安全対策に万全を期すこと。県の事業補助を増やすよう要望すること。

29. 学校の新築及び改築計画を策定し、子ども達の教育環境の充実を努めること。

30. 学級編成は、本市としても小中学校を30人学級に編成し、教育の充実を努めること。

31. 教育予算を増額し父母負担の軽減をはかること。

32. 市立図書館の蔵書を充実させるため、図書購入費の増額をはかる。時間延長と祝・祭日の開館を行うこと。

33. 市立の保育園、幼稚園の統廃合や民間委託は、父母や住民の合意が得られない場合は実行しないこと。

34. 「放課後子どもプラン」実施にあたり、学童保育所の充実・調整をはかり、子どもたちの成長を保障すること。

35. 学校プールの開放について父母任せにしないで、市としての支援策をつよめること。

36. 地元産の米や野菜及び水産加工物等を学校給食に供給し、一層の充実をはかること。

37. 学校給食のセンター方式から自校方式に切替えるよう検討すること。

38. 市民プールの利用については、小・中学生への無料化をはかること。

39. 市民ふれあいセンターの改修後、多様な催しを行えるよう積極的な活用をはかること。

● 生活環境

40. 市防災計画を見直し、原子力災

害に際して充実をはかること。

41. ヨウ素剤を全戸及び保育園、幼稚園、小中学校に常備すること。

42. 急傾斜地の整備を早急に行うよう県に働きかけること。

43. ゴミの資源化、減量化を促進する。生ゴミの資源化をはかること。

44. 環境保護条例や水源保護条例を創り、水と緑の保護、自然環境を守るために力を注ぐこと。

45. 不法投棄や悪臭・騒音などの公害に対する監視を強め、住民の生活環境を守ること。

46. 大北川及び花園川等の中州の浚渫(取払い)を行なうこと。

47. 生活道路の整備に努めると同時に、危険箇所の調査・改修に努めること。

48. 産業廃棄物処理場の拡張・新設を認めず、他県からのゴミの持ち込みを規制すること。

49. 磯原駅西への交番の設置を関係機関にはたらきかけること。

50. 磯原駅東口にトイレを設置すること。

51. 工場及び家庭におけるゴミの焼却を抑制するよう啓蒙をはかること。

52. 大北川・花園川や里根川など市内河川の浄化のため、市民への啓蒙をはかり、憩いの場としての活用をはかること。

53. 北浜(向う州か)のハマヒルガオの群生地を保護すること。

● 行財政

54. 市の「行革」においては市民に直結する福祉、暮らしに関わる予算の削減は行なわないこと。

55. 市債の低金利のものへの借り換え、及び繰り上げ償還を行ない利払いの軽減をはかること。

56. 市長交際費の支出内容の公開をはかること。

57. 議員の公費による海外視察は原則的には中止すること。

58. 職員採用にあたっては、厳正・公正をつらぬく。パート職員や属託職員の採用にあたっては公募で募集すること。

59. すべての審議会、懇談会などに住民参加を徹底し原則公開とすること。

60. 公共事業の入札の透明性、公開性を先進地に学んでさらに徹底し、談合の防止に努めること。

61. 情報公開条例の運用の推進をはかり、市民に開かれたガラス張りの市政運営を行なうこと。

62. 核兵器廃絶平和宣言都市にふさわしい平和事業を実施し、その予算措置をとること。